令和元年９月１６日

各高等学校および教育関係者各位

一般社団法人Glocal Academy理事長

　　岡本　尚也

「第5回高校生国際シンポジウム」について（御案内）

　清秋の候，皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます．

　さて，全国のSGHやSSHの学校をはじめとして，各高等学校で多くの生徒が課題研究に取り組んでいる状況かと拝察いたします．今年度もその成果を発表する機会といたしまして，「第５回高校生国際シンポジウム」を令和2年2月13日（木）および2月14日（金）に鹿児島市にて開催いたします．

　各方面をリードする方々による基調講演やパネルディスカッションを用意し，本シンポジウムの参加者が日本および世界が抱えるあらゆる分野の課題について新たに学ぶことのできる充実したシンポジウムになるよう計画しております．同時に，課題研究をどう進めるべきかの事例発表や教材などについて教員向けの研修会も実施いたします．

　さらに，今回は発表の各部門の最優秀者に対しさらなる発表機会の拡充を目的としてGlobal Link Singapore（グローバル・リンク・シンガポール）への参加資格が得られることといたしました．詳細は別紙で御確認ください．

　なお，高校生が審査員やパネリスト，全国の生徒たちとお互いに意見を自由に交換できるような時間を持つ交流会も企画しております．昨年度も生徒は活発に交流しておりましたので，今年度もそのような会になるように努力したいと思います．

　つきましては，お忙しい時期かと存じますが本シンポジウムの趣旨を御理解いただき，ぜひ御参加くださいますよう御案内申し上げます．

**第5回高校生国際シンポジウム実施要項**

１　主　催（予定）一般社団法人Glocal Academy

２　協　賛　　　　株式会社 新興出版社啓林館，株式会社JTB，等

３　後　援　　　　文部科学省(申請中) ，経済産業省(申請中)，オックスフォード大学日本事務所等

４　テーマ（予定）「人類の英知の上に立ち，未来を創る」

５　目　的（予定）日頃の研究成果をスライド発表やポスター発表としてまとめ，生徒が自らの研究成果を発表するとともに，参加者間の交流を深めながら今後の進路選択や社会への理解を深めていく．

６　期日・会場　　令和2年2月13日（木），2月14日（金）宝山ホール（鹿児島県文化センター）　〒892-0816鹿児島県鹿児島市山下町5-3

７　日　程

|  |  |
| --- | --- |
| 【1日目】　2月13日（木） | 【2日目】　2月14日（金） |
| 受付 | 9:00～9:30 | 受付 | 8:30～9:00 |
| 開会行事 | 9:30～10:00 | ゲスト講演 | 9:15～10:00 |
| 基調講演 | 10:00～10:30 | 表彰式・講評（※3） | 10:15～11:30 |
| パネルディスカッション | 10:40～11:50 | パネリスト・審査員との交流会 | 11:45～13:20 |
| 昼食 | 11:50～13:00 | ワークショップ(※4) | 13:20～14:10 |
| 課題研究発表・審査会 | 13:00～17:15 | 優秀発表・グランプリ発表(※5) | 14:15～15:55 |
| 　　第１部 | (13:00～14:15) | 閉会行事 | 16:00～16:20 |
| 　　第２部　　第３部 | (14:30～15:45)(16:00～17:15) |  |  |
| 研修会（※2）・生徒交流会 | 18:00～ |  |  |

※1　詳細は別紙１を御参照ください．

※2　１日目に課題研究に関する教員研修会・情報交換会を実施します．内容は課題研究の指導のあり方および事例発表等です．詳細はWebを御覧ください．

※3　ポスター発表，スライド発表における各部門の最優秀賞にはシンガポールで行われるGlobal Link Singapore への推薦参加資格が与えられます．また，スライド発表部門の各分野の最優秀賞発表は表彰後に発表をして頂きます．講評は各分野の審査責任者が行います．

※4　各分野をけん引されている審査員の方々による講義を行います．生徒や教員の方々が希望する希望分野を当日選んで頂きます．

※5 スライド発表の最優秀発表団体および個人の中から，各分野の審査員および審査統括責任者による協議を行い，グランプリを決定しGlobal Link Singapore への参加に必要な経費を支給する（別紙4参照）．



アジア地域を中心とする世界各国の中高生が，科学や国際課題に関する考えや研究成果を，英語を使って国際舞台で発表します．

公式HP: https://www.jtbbwt.com/gsl/index.html

８　講　演

基調講演　　慶応義塾大学　法学部　教授　　田村次郎　氏

　演題『探究の面白さとその意味（仮題）』

慶應義塾大学法学部教授，ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー，ホワイト＆ケース法律事務所特別顧問(弁護士)，交渉学協会理事長，説得交渉学会　会長．専門は経済法、国際経済法、および交渉学．各省庁などの委員を務めるとともに、日米通商交渉、WTO（世界貿易機関）交渉等に携わる．ハーバード大学国際交渉プログラムのインターナショナル・アカデミック・アドバイザー、ダボス会議（世界経済フォーラム）の「交渉と紛争解決」委員会の委員を務める等、最前線における国際交渉の活躍経験もある．日本における「リーダーシップ基礎」・「交渉学」の研究・教育の開発に取り組んでいる．主要著書:『交渉の戦略』ダイヤモンド社、2004年，『WTOガイドブック第2版』弘文堂、2006年 ，『企業のコンプライアンスと独占禁止法』（共著）商事法務2006年，『法と経済学』（共著）、東京大学出版会、2007年 等多数

ゲスト講演　　東京大学名誉教授 (公財)船井情報科学振興財団副理事長　　益田　隆司　氏

　　演題『これからを生きる君たちへのメッセージ』

東京大学名誉教授．工学博士．日立製作所中央研究所に勤務後，東京大学理学部情報科学科教授，理学部長，理学系研究科長，電気通信大学長を経て現在，公益財団法人船井情報科学振興財団業務執行理事．海外の大学院でPh.D.取得のための留学を目指す日本人留学生に奨学金支援の活動をしている．毎年海外での交流会を開催する等，支援学生相互の交流も 積極的に図っている．

９　パネルディスカッション　　テーマ「高校生にいま必要なこと」

　　パネリスト　　　アリソン　ビール オックスフォード大学日本事務所所長

（予定・五十音順）

日下部　元雄 （株）オープン･シティー研究所所長，元世界銀行副総裁

宇津木　光代 シュプリンガー・ネイチャー

島津　公保 島津興業取締役相談役

　　司　会　者　　　岡本　尚也　　　　　一般社団法人Glocal Academy 代表理事

１０　参加者（予定全国の高等学校，中等教育学校に在籍する生徒および教員，その他，本シンポジウムに関心のある教育関係者

１１　研究発表コンテストについて

　(1) 応募資格　　課題研究を継続して実施する国内外の高校生（各学校で申し込み数は10まで）．

　(2) 発表形式　　発表は「スライド発表の部」「ポスター発表の部」の２部門で行う．発表は1～4名で行う．なお，同一研究内容を両部門で発表することはできない．また，英語での発表はその英語力に応じて審査の際に最大5％程度の加点を行う．

　(3) 発表数等　　スライド発表の部，ポスター発表の部ともに1～5分野に分けて実施する（分野数は応募数等による）．各分野の発表数はスライド発表の部が最大8～9，ポスター発表の部が最大12~15とする．スライド発表45，ポスター発表75の最大数を超えた申し込みがあった場合には，提出された研究要綱（別紙２）をもとに書類審査を行う．

　　　　　　　　① 別紙１の「４　発表分野について」掲載の分野のうち，自分の研究に関連する分野を2~3つ程度選ぶ．

　　　　　　　　② 関連分野の応募数等により発表の分野を設定．発表分野およびその発表者・発表順序をシンポジウムのWebサイトおよびメールでの通知にて令和2年1月20日（月）に発表する.

　(4) 審査基準　　審査基準の詳細は別紙１を参照のこと．今年度からスライド発表の部，ポスター発表の部のそれぞれにおいて二つのルーブリック評価を行う．一つは，提案型（政府や自治体に向けた政策提言，民間団体向けの解決策の提案，起業，ビジネスプラン等）の研究に対するもので，もう一つは基礎研究型のもので社会や学術において新たな見地（未知の現象や課題の発見，新たな理解・解釈）を与える研究に対するものとする．提出の際にどちらのルーブリックにおいて評価を受けたいかを選択する事．

　(5) 発表時間　スライド発表の部　　発表時間12分，質疑応答7分，審査記録3分　　計22分

　(4) 発表時間　ポスター発表の部　　発表時間7分，質疑応答3分　　計10分

　(4) 発表時間　※各部とも発表は日本語・英語のどちらでも構わないが，質疑応答で使用する言語は質問者（発表者ではない）の使用言語とする．

　(4) 発表時間　※ポスター発表の部は設定時間内に複数回の発表を行う．

　(4) 発表時間　※時間を超過しないようにすること．

　(6) 表　　彰　　各分野ともそれぞれの優れた発表を最優秀賞，優秀賞，優良賞として表彰する．

　(7) 申込方法【生徒申込】　別紙１の応募上の注意を熟読し，令和元年12月1日（日）から令和2年1月10日（金）18:00までに別紙２の研究要綱をPDF形式で大会申し込みWebサイトより提出する．その後，令和2年1月14日（火）に書類審査を通過した参加資格者を発表するので，令和2年1月18日（土）までに別紙３の内容をWebサイトでデータ入力するとともに，別紙３自体を押印のうえ，郵送し（令和2年1月20日（月）消印有効）本申込を行う．
　発表分野及び発表順序は令和2年1月20日（月）にWebサイトおよびメールにて発表する．

 申込方法【引率教員申込】　引率教員の参加申込は上記生徒の本申込と同時に令和2年1月20日（月）までに別紙３の内容データWebサイトにて送付を行い，別紙３自体を押印のうえ，郵送し（令和2年1月20日（月））本申込を行う．

申込方法【見学申込】　発表を行う生徒および引率教員以外の参加申込は，Webサイトに示された方法によって令和元年12月1日（日）から令和2年1月31日（金）までに行う．

　(8) そ の 他

　　① スライド発表の部では，PCやタブレット等を各自持参すること．RGBケーブルは用意するが，それ以外を用いる場合はアダプター等を各自用意する．会場の関係で前日等にリハーサルができないため，接続のテストは休憩時間に行う．

　　② ポスター発表の用紙は四六判（788mm×1091mm）１枚とする．詳しくは別紙１の「３　発表について」を参照．

　　③ １日目全日程終了後に教員研修会，２日目の全日終了後にパネリスト，審査員，生徒との交流会を開催する．参加費と時間はWebサイトにて連絡する．

　　④ 弁当の申込やホテルの斡旋，交流会等の参加申込については，Webサイトを参考にすること（令和元年12月1日（日）から掲載予定）．

１２　大会Webサイトについて

　　本大会に関する情報は，全て大会Webサイトに掲載する．

また，各様式等や発表の希望者数が多い場合の審査結果の発表も大会Webサイトに掲載予定．

申し込みの際に引率者のメールアドレスを登録すること（更新情報を送信するため）．

　　大会Webサイトアドレス（令和元年11月5日（火曜）より利用可能）

<http://glocal-academy.or.jp/>

【連絡先】

　〒890-0051

　鹿児島県鹿児島市高麗町9-20

担当：久木田，岡本

TEL 090-5289-0857　FAX 099-256-2444
Email: info@glocal-academy.or.jp

|  |
| --- |
| 主な日程一覧 |
| 12/1 (日) | Webサイト公開・申し込み開始 |
| 1/10 (金) | 申込締め切り(Webサイトにて) |
| 1/14 (火) | 参加資格者発表 |
| 1/18 (土) | 参加本申込締め切り(Webサイトにて) |
| 1/20 (月) | 書類送付締め切り，発表順等発表 |

（別紙１）

**第5回高校生国際シンポジウム応募上の注意**

１　応募方法

　　　応募する際は，令和2年1月10日（金）18:00までに大会Webサイトに必要情報を記入の上，所定の研究概要（別紙２）を送付すること．研究要綱は以下の「２　主な審査基準」や「３　発表について」をよく読んで作成すること（必要に応じて図表を挿入しても可．その場合は，見出しを必ずつけること）．

　　　参加本申込書は令和2年1月18日（土）までに本大会Webサイトで必要情報を入力後，参加本申込書自体に学校長の公印を押して郵送で大会本部まで送付すること（令和2年1月20日（月）消印有効）．

　　　応募数がスライド発表部門で45，ポスター発表部門で75をそれぞれ超えた場合，別紙２の研究要綱をもとに審査を行い，選抜を行う．結果は令和2年1月14日（火）にWeb上およびメールにて発表する．

２　主な審査基準

　　スライド発表の部，ポスター発表の部ともに，以下のことを中心に評価する．

　　①提案型
・研究背景，現状の理解

　　・研究の目的，リサーチクエスチョンの明確さ

　　・先行研究や先行事例等をもとにした，研究の意義や独自性の提示

　　・提案が調査や実験等，客観的なデータをもとに行われているか

　　・提案の実現可能性が検討されているか

　　・結果の論理性や客観性，考察の深さ

　　・収支予測の妥当性（起業プラン等に関する場合）

　　・引用や参考文献が正しく用いられているか

　　・プレゼンテーションスキル・コミュニケーション力

　　②基礎研究型
・研究背景の深い理解

　　・研究の目的，リサーチクエスチョンの明確さ

　　・先行研究や先行事例等をもとにした，研究の意義や独自性

　　・研究の目的達成に対する適切な研究方法

　　・結果の論理性や客観性の高さ

　　・今後の展望

・考察の深さ

　　・引用や参考文献が正しく用いられているか

　　・プレゼンテーションスキル・コミュニケーション力

なお，英語での発表はその英語力に応じて審査の際に最大5％程度の加点を行う．また，選抜結果以外の詳しい審査結果については非公開とする．発表項目の詳細（次項）や，それぞれの審査項目については，『課題研究メソッド』（啓林館）などを御参照ください．

３　発表について

　(1) スライド発表の部

　　スライド発表には特に指定の書式等はないが，以下の内容は必ず含むこと．

　　① 表紙：タイトル，高校名．発表者名

　　② 研究背景

　　③ 研究の目的（リサーチクエスチョン）とその意義

　　④ 研究対象と方法

　　⑤ 結果・考察

　　⑥ 結論・まとめ

　　⑦ 引用文献，参考文献リスト

　(2) ポスター発表の部

　　ⅰ. タイトル，高校名，発表者名（複数の場合は全員分記載）

　　ⅱ. 要旨（要 英語）

　　ⅲ. 背景・目的（研究背景の説明，研究の目的と意義）

　　ⅳ. 研究手法

　　ⅴ. 結果・考察

　　ⅵ. 結論・まとめ

ii要旨

i 〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇高校〇年　○○○○

iii背景・目的

v 結果・考察

iv研究手法

vi結論・まとめ

vii引用文献，参考文献

　　ⅶ. 引用文献，参考文献リスト

　　※ 発表用紙は四六判（788mm×1091mm）

１枚とします．

ポスターの構成 一例

４　発表分野について

|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 内容 |
| １ | 【貧困をなくそう】全ての場所で全ての形態の貧困を終結 |
| ２ | 【飢餓をゼロに】飢餓を終結，食料安全保障の達成，持続可能な農業の促進 |
| ３ | 【すべての人に健康と福祉を】全ての年代の全ての人の健康な生活の確保，福祉の促進 |
| ４ | 【質の高い教育をみんなに】包摂的かつ公正な質の高い教育の確保及び生涯学習機会の提供 |
| ５ | 【ジェンダー平等を実現しよう】ジェンダー平等の達成，全ての女性・女子のエンパワーメント |
| ６ | 【安全な水とトイレを世界中に】　全ての人の水と衛生の供給確保と持続可能な管理 |
| ７ | 【エネルギーをみんなに　そしてクリーンに】　全ての人の安価かつ信頼できる持続可能な現代エネルギーアクセスの確保 |
| ８ | 【働きがいも経済成長も】　包摂的で持続可能な経済成長，全ての人の完全で生産的な雇用，ディーセント・ワークの促進 |
| ９ | 【産業と技術革新の基盤をつくろう】　強靭なインフラ建設，包括的かつ持続可能な産業およびイノベーションの拡大 |
| １０ | 【人と国の不平等をなくそう】　各国内及び各国間の不平等是正 |
| １１ | 【住み続けられるまちづくりを】　都市と人間居住環境の安全，弾力性，持続可能性の確保 |
| １２ | 【つくる責任　つかう責任】　持続可能な生産消費形態の確保 |
| １３ | 【気候変動に具体的な対策を】　気候変動及びその影響に関する緊急対策 |
| １４ | 【海の豊かさを守ろう】　海洋資源保全及び持続可能な利用 |
| １５ | 【陸の豊かさも守ろう】　陸上生態系，森林保護・管理，生物多様性の保護・回復，持続可能な利用の促進，砂漠化対策，土地劣化防止，生物多様性の喪失の阻止 |
| １６ | 【平和と公正をすべての人に】　持続可能な開発のための平和的で包摂的な社会の促進，全ての人の司法へのアクセス提供，全てのレベルでの効率的で説明責任のある包摂的行政機構の構築 |
| １７ | 【パートナーシップで目標を達成しよう】　実施手段の強化，持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化 |
| １８ | 自然科学研究（数学系） |
| １９ | 自然科学研究（物理系） |
| ２０ | 自然科学研究（化学系） |
| ２１ | 自然科学研究（生物系） |
| ２２ | 自然科学研究（地学系） |
| ２３ | 工学系（ロボット工学やプログラミング等），その他 理科系の研究 |
| ２４ | 国内社会課題研究（地域創生，町おこし等） |
| ２５ | 人文科学研究（哲学・文学等）　※24を除く |
| ２６ | 起業・ビジネス分野 |

　　　　※申込の際はこの１～２６のうちから，3つ関連ある分野を挙げてください．

（別紙２）

Webサイト(<http://glocal-academy.or.jp/>)にてダウンロード可能．**PDF形式で送付すること**．

←日本語 ＭＳ明朝 14pt

○○○○（タイトル）

←英語Times New Roman 14pt

**（English Title）**

↓日本語 ＭＳ明朝 12pt

○○高校　　○年〇組　　○○○○（名前：複数の場合は全員分記載）

***Abstract***: 英文要旨（50語程度）研究内容が分かるように記載

←英語 Century 10pt

←英語 Century 10pt

***Keywords*:** 研究において重要なキーワード（英語，５語程度）

**1. 研究背景**

　研究テーマとその背景について説明

**見出し　MS明朝11pt 太字**

本文 MS明朝 10.5pt程度

（以下同様）

**2. 研究目的・意義**

　研究の目的（取り組んだリサーチクエスチョン）及びその研究の意義について説明

**3. 研究方法**

　どのような方法で研究・調査を行ったかを説明

**4. 結果・考察**

　研究によって得られた結果を示し分析・考察する

**5. 結論及び今後の展望**

　本研究で得られた結論及び，それに伴う今後の展望（どのような変化が見込めるか）

**参考文献・引用文献**

参考にした文献や引用した文献のリスト

（注意）

＊**用紙は必ずＡ４で２枚以内に収めること．**

＊用紙は(First Name)\_(Family Name)\_(School Name)\_(Prefecture).pdfの名前をつけ送付すること

（例：Taro\_Yamada\_Konan\_Kagoshima.pdf）

研究要綱・発表資料を作成する際の注意事項

1. 要綱の審査内容

提出された研究要綱は以下のポイントから審査を行う．優秀研究要綱に関してはHP上にて公開いたします（10月中旬）：http://glocal-academy.or.jp/．



1. 英文Abstractについて

①Introductionではない

Abstractは，研究の要旨であり，Introductionつまり，研究の導入ではない．そのため，どのような研究を行ったのかがこのAbstractを読んで分かるようにしなければならない．

②主観的な表現について

本大会はスピーチ大会ではなく，研究発表大会である．そのため，主観的な表現をこの研究要綱および発表においても極力避けること．英文であれば，I think や I believeなどの表現は避けること．

1. 引用について

　毎年，**参加者の多くが引用を適切に行わずに提出を行っている**．研究背景などでは，引用を行いながらリサーチクエッション，目的を述べるのが通例であるが文中への引用が行われていない場合，主観的な意見と客観的な意見を分類することが難しく，審査が困難となる．適切な引用の方法例は以下に示すようなものである.

* 1. 文中に引用したことを示す (課題研究メソッド～ よりよい探求活動のために～（岡本尚也著，啓林館）より)

上記の示し方は一例であるが，このようにデータや論述の根拠が他の文献等から生じたものである場合，必ず引用している事を上記のような方法で示さなければならない．

* 1. 引用・参考文献にその文献の詳細を示す

(課題研究メソッド～ よりよい探求活動のために～（岡本尚也著，啓林館）より)

入江昭. (1966). *日本の外交: 明治維新から現代まで* (Vol. 113). 中央公論社.

このように，文中で引用したものを引用・参考文献リストで確認できるように，その詳細を示さなければならない．一般的な書式は



 があるが，詳しくは 課題研究メソッド～ よりよい探求活動のために～（岡本尚也著，啓林館）などを参照.
また，発表用のスライド，ポスターにおいては最後のリストの部分のみでなく，必ず引用した箇所に文献の詳細も（特にスライドの場合はその引用したスライドに）示すこと．

|  |
| --- |
| **第５回高校生国際シンポジウム　生徒・引率教員参加本申込書** |

・データをWebサイトで入力した後，この用紙を**令和２年１月２０日（金）（当日消印有効）**で送付すること．もし発表希望が校内に複数いる場合には，コピーして発表単位で申込をしてください

（別紙）３）

（例えば，発表希望が３人または３チームある場合には，３枚コピーして送付ください）．

**１　登録**

　　学校名　　　　　　　　　　　　　　　　　申込責任者名

　　電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　メールアドレス

**２　発表順抽選**　1〜1000までの番号を３つ書いて下さい．発表順番の抽選の際に使用します．

　　（１）（　　　　　　　　　）（２）（　　　　　　　　　）（３）（　　　　　　　　　）

**３　当日引率予定の教員名（複数記載可）**

**４　発表について**

参加の部：スライド発表の部 （　提案型　　基礎研究型　）

ポスター発表の部 （　提案型　　基礎研究型　）　（４つのうちどれかに○をつけること）

発表分野：　（　　　　　　　　　　　）※別紙1　発表分野についてより数字を2~3程度書く．

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生徒１ | Name | 学年　（１・２・３） |
| 氏名 | 性別　（ 男 ・ 女 ） |
| 生徒２ | Name | 学年　（１・２・３） |
| 氏名 | 性別　（ 男 ・ 女 ） |
| 生徒３ | Name | 学年　（１・２・３） |
| 氏名 | 性別　（ 男 ・ 女 ） |
| 生徒４ | Name | 学年　（１・２・３） |
| 氏名 | 性別　（ 男 ・ 女 ） |

　（生徒名は上段ローマ字，下段漢字等）　　　　　　　　　　　　　　　　（○印をすること）

**５　研究要綱の公開について**

　　課題研究の更なる普及，発展のため本シンポジウムで提出された研究要綱を弊社Webサイトにて公開予定です．以下の選択肢より，公開する際の方法について□に✓を入れお選びください（後日変更可能）．

　□　提出したものをそのまま公表して良い．□　公表を希望しない．

□　学校名もしくは発表者氏名を伏せての公表を希望する（□学校名，□発表者氏名　を伏せる）．

　上記生徒および引率教員を派遣します．大会参加にあたり，所属学校名・学年・氏名の個人情報が大会プログラム・記録集で公開される場合もあること，また大会における写真・映像が新聞などのメディア媒体や記録等で使用される場合もあることを了承します．

令和　　年　　　月　　　日

学校名

校　長　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

（別紙４）

「Global Link Singapore（グローバル・リンク・シンガポール）」への参加資格に関して

　第5回高校生国際シンポジウムでは，課題研究成果の発表機会のさらなる拡充を目的として，各分野で最優秀賞に選ばれたスライド発表部門，ポスター発表部門の最大８団体（個人）に2020年７月にシンガポールで開かれるGlobal Link Singaporeへの参加資格が与えられることとします。

また，スライド発表部門の各分野の最優秀賞の中から選ぶ最優秀特別賞を受賞した発表団体（個人）生徒のGlobal Link Singaporeへの参加にかかる経費について，本国際シンポジウムの趣旨に賛同する企業から一部を補助いたします（上限30万円）。

　詳細は以下のとおりです。

　１．各部門の優秀発表１団体（便宜上，団体と記載しますが実際は個人または最大３名のグループです。以下同じ）に参加資格が与えられることとします。つまり，スライド発表部門（最大４分野）とポスター発表部門（最大４分野）を併せて最大８団体に参加資格が与えられることになります。ただし，参加に必要な経費の補助を行うのはスライド発表部門の最優秀賞を受賞した団体の中から選ばれる１団体です。

　２．１のスライド発表の各分野で最優秀賞を受賞した団体の中から，各分野の審査員長および審査統括責任者による協議（参加申し込み時に提出された研究要綱を活用する）を行い，最も優れた発表を行った団体に最優秀特別賞を与え，その団体にGlobal Link Singaporeへの参加にかかる経費等の補助を行います。

　　　ただし参加に必要な経費の補助のみとし，また団体メンバーが複数いた場合でも上限は30万円とします。

Global Link Singaporeへの参加資格や経費の補助については，シンポジウム２日目の閉会行事が終了した後，該当団体に事務局担当者から改めて詳細について御説明いたします。